

登壇者



田中 均

日本総合研究所国際戦略研究所特別顧問;元外務審議官;
(公財)日本国際交流センターシニアフェロー

1969年京都大学法学部卒業後、外務省入省。オックスフォード大学より学士号・修士号（哲学・政治・経済）取得。北米局審議官（96-98）、在サンフランシスコ日本国総領事（98-2000）、経済局長（00-01）、アジア大洋州局長（01-02）を経て、2002年より政務担当 外務審議官を務め、2005年8月退官。アジア大洋州局長時代、史上初の日朝首脳会談・日朝平壤宣言を導いたことで知られる。同年9月より（公財）日本国際交流センターシニア・フェロー。2006年4月より2018年3月まで東京大学公共政策大学院客員教授。2010年10月より（株）日本総合研究所国際戦略研究所理事長。2022年12月より現職。著書に『日本外交の挑戦』（角川新書、2015年）、『プロフェッショナルの交渉力』（講談社、2009年）、『外交の力』（日本経済新聞出版社、2009年）、『見えない戦争』（中公新書ラクレ、2019年11月）、『タブーを破った外交官』（岩波書店、2025年10月）等がある。

X（旧Twitter）:@TanakaDiplomat

YouTube:『田中均の国際政治塾』@tanakadiplomat



井上正也

慶應義塾大学法学部教授

1979年生まれ。2009年神戸大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（政治学）。専門は日本政治外交史。著書『日中国交正常化の政治史』（名古屋大学出版会、サントリー学芸賞・吉田茂賞受賞）、『戦後日本のアジア外交』（共著、ミネルヴァ書房、国際開発研究大賞受賞）、『評伝福田赳氏』（共著、岩波書店）など。



佐橋 亮

東京大学東洋文化研究所 教授

東京大学大学院博士課程修了、博士（法学）。専攻は国際政治学、特に米中関係、東アジアの国際関係、国際秩序論。2025年1月より現職。東京大学未来ビジョン研究センター教授を兼任。土地等利用状況審議会委員、科学技術外交推進会議委員、日本国際政治学会理事、日本国際交流センター理事、経団連総合政策研究所客員研究委員、読売新聞読書委員、全米アジア研究所諮問委員・『アジアポリシー』誌編集委員を兼ねる。これまで、スタンフォード大学、ウィルソン国際学術センター、ソウル国立大学等で客員研究員、経済産業研究所にてファカルティフェローを歴任。著書に『米中対立：アメリカの戦略転換と分断される世界』（中央公論新社）、『共生の模索 アメリカと「2つの中国」の冷戦史』（勁草書房）、編著書に『トランプのアメリカ』（東京大学出版会）、『世界の岐路をよみとく基礎概念』（岩波書店）、『冷戦後の東アジア秩序』（勁草書房）、訳書にアーロン・フリードバーグ『支配への競争：米中対立の構図とアジアの将来』（日本評論社）など